

先進的な米経営の概要 (事例 ～)

- | | |
|----|------------------------------------|
| 事例 | 有限会社 アグリ山崎 |
| 事例 | 新潟ゆうき株式会社 |
| 事例 | 株式会社ファーム木精 ^{こだま} |
| 事例 | JA ^{こうのすし} 鴻巣市特別栽培米部会 |
| 事例 | 有限会社 しんかい農耕 |
| 事例 | 紋谷 ^{もんや} 巖 ^{いわお} |
| 事例 | 有限会社 米工房いわむろ |

農林水産省

平成20年2月

先進的な米経営の概要（事例）

1．経営の概況

会社・個人名	有限会社 アグリ山崎
所在地	茨城県坂東市勘助新田4422
経営面積 作付面積	計 50 ha 借入地 46 ha 作物内訳（ 水稻 40 ha ） （ 麦 16 ha ） （ 大豆 15 ha ）

2．地域の概要

<p>坂東市は、茨城県の南西部に位置し、利根川を挟んで千葉県野田市と接し、茨城県への玄関口となっている。</p> <p>総面積は、123.18 km²で、県土の約2%を占めている。区域は東西約12 km、南北約20 km。首都圏50 km圏に位置し、全域が首都圏近郊整備地帯に指定されている。中心部は猿島台地と呼ばれる平坦な台地で、田・畑地が広がるなか多くの平地林や白鳥の飛来で有名な菅生沼など、良好な自然が残されている。</p> <p>気候は、太平洋型で、年平均気温は15.0度、年間降雨量は1,293mmと比較的温暖な地域となっている。</p>

3．取組の概要

取組の類型	消費者へ直接販売 直播，機械の農業土木利用等による生産コストの低減
セールポイント	【環境に優しい米づくり】 「水稻ゆうき会」という組織をつくり、地域の人達と共に環境に優しい米づくりを実践している。地域のレベルアップが、有限会社アグリ山崎のレベルアップにもつながると考えている。都市住民との交流を通じて、農業の大切さ、地域地消の大切さをうたっている。
取組の内容	【有機米・特別栽培米】 事業の拡大は、人材の確保・育成と考え、平成8年9月に「有限会社アグリ山崎」を設立。また、地域農業の維持・発展のためには地域の核（集落営農・法人）が必要であり、法人化することで地域農業・人材育成を考えている。 面的拡大から内容の充実を図り、社員の質・ほ場の条件整備・品質のグレードアップ（有機米・特別栽培米の導入）によって、同じ面積でも高所得を得、経営の質を上げていくことを考えている。
取組の効果	コスト的には5%の削減が図られた。また、農業資材が高騰しているが、経営の質を向上することで手取りは変わらないよう努力している。

先進的な米経営の概要（事例）

1．経営の概況

会社・個人名	株式会社ファーム木精 ^{こだま}
所在地	島根県飯石郡飯南町頓原207番地
経営面積 作付面積	計 65 ha 借入地 65.0 ha 作物内訳 (水稻 32.0 ha) (大豆 23.6 ha) (そば 5.2 ha)

2．地域の概要

飯南町は中国山地の中央部に位置し、面積の9割を山林が占めている山間地である。基幹産業は農林業で、平坦地でも標高が450m前後という地形から、県内でも有数の良質米地帯として知られている。集落営農組織の育成が進んでおり、25の組織に水田の46%を集積している。

3．取組の概要

取組の種類	消費者へ直接販売 直播，機械の共同利用等による生産コストの低減 他作物等との組み合わせや自家加工など多角化
セールスポイント	平成14年にエコファーマー認定を取得。化学肥料・農薬を極力使用しない特別栽培米や、機能性雑穀を組み合わせたブレンド米、自社栽培原料を使用した様々な加工品等、30種の付加価値の高い商品を取り揃える。それら商品群の根底には、「食とは命のある物を頂いて、命をつないでいくこと。」という健康重視の思想が貫かれている。 また、日本農業法人協会に所属し、そのネットワークを活かした加工商品の原料確保、マーケティング、商品開発など積極的な経営戦略をたてている。
取組の内容	【販路の確保】 通販、ネット通販、個人との直接契約、東京の米屋への出荷など全国のこだわりを持つ消費者に販売。 産直市への出荷。地元産の新鮮な山野菜とともに、奥出雲発「健康物語」を提案。 町内老人ホームへの納品。 【経営の合理化】 町内外18集落、79戸の農家と利用権を設定し、経営規模の拡大に努めている。目標は平成23年に80ha 加工を委託に出すことにより、自前の加工施設を持たないことでコストを極力かけないようにしている。
取組の効果	売上が約5割増加（対H11年比）

先進的な米経営の概要（事例）

1. 経営の概況

会社・個人名	J A 鴻巣市特別栽培米部会
所在地	埼玉県鴻巣市寺谷473-1（J A 鴻巣市営農経済センター）
作付面積	特別栽培米「彩のかがやき」 6.60 ha（平成19年産） 「キヌヒカリ」 12.77 ha（平成19年産）

2. 地域の概要

<p>鴻巣市は、埼玉県のほぼ中央、都心から50km圏内に位置する。市の南西部には秩父山地を源流とする荒川が流れ関東ローム層や荒川沖積層からなる肥沃な土地は、気候にも恵まれ、花きや野菜等の栽培に適している。</p> <p>総面積は35.87 km²、うち田畑が約47%、宅地が約24%を占め、古くからの農村地帯と宅地開発で整備された新市街地とが共存する形で、東京のベッドタウンとして発展。</p>
--

3. 取組の概要

取組の類型	J A による米穀小売業者への直接販売			
セールスポイント	<p>全国に向けての「彩のかがやき」の高い品質のアピールと、その品質にふさわしい適正価格での取引の実現を目的として、生産者、J A 鴻巣市、鴻巣市、埼玉県からなるプロジェクトチームを立ち上げ、生産・販売対策に取り組んだ。</p> <p>その結果、高品質な「彩のかがやき」の生産と新たな販売ルートの開拓を図ることができ、収益の拡大につながった。</p> <p>また、取組に関連して、「彩のかがやき」がテレビ、ラジオ、週刊誌等のマスコミに取り上げられることにより、広く消費者に知れ渡ることとなった。</p>			
取組の内容	<p>【生産対策】 J A 鴻巣市特別栽培米部会（鴻巣市内生産者13戸）が、独自の栽培基準を設定。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>種子更新率100%・減農薬・減化学肥料栽培</td> </tr> <tr> <td>玄米タンパク質含有率「彩のかがやき」6.0%以下 「キヌヒカリ」 6.5%以下</td> </tr> <tr> <td>グレーダーふるい目1.9mm以上 等</td> </tr> </table> <p>特別栽培米「彩のかがやき」5.6 ha作付、18.3トン収穫。（平成18年産）</p> <p>【販売対策】 米穀小売業者を招いての現地検討会を実施。 都内・県内の有名米穀専門店を訪問し、7業者との取引が成立。 鴻巣市の地名の由来となった伝説から「このとり伝説米」と命名し、独自のパッケージを作成。 生産者の奥様、お嫁さんで組織された「J A 鴻巣市特別栽培米部会販売促進部」が中心となり、試食会、料理レシピ作成、PRキャラクターの選定等積極的なPR活動を展開。 平成19年産以降も、栽培面積の拡大や新たな品種の導入を進め、更なる販路の拡大を図る。</p>	種子更新率100%・減農薬・減化学肥料栽培	玄米タンパク質含有率「彩のかがやき」6.0%以下 「キヌヒカリ」 6.5%以下	グレーダーふるい目1.9mm以上 等
種子更新率100%・減農薬・減化学肥料栽培				
玄米タンパク質含有率「彩のかがやき」6.0%以下 「キヌヒカリ」 6.5%以下				
グレーダーふるい目1.9mm以上 等				
取組の効果	一般の「彩のかがやき」に対して10a当たり粗利益110%			

先進的な米経営の概要（事例）

1．経営の概況

会社・個人名	有限会社 しんかい農耕
所在地	福島県河沼郡会津坂下町大字新開津字村内30番地
経営面積 作付面積	計 57 ha 借入地 53 ha 作物内訳 (米 29 ha) (麦 28 ha)

2．地域の概要

会津坂下町は、会津盆地の北西に位置し、人口18千人、土地面積約9,200haのうち耕地及び林野がそれぞれ3割強を占めている。

水稻を基幹作物としながら平坦で肥沃な土地条件を活かし、野菜・果樹・花卉・畜産などを組み合わせた収益性の高い大規模複合経営の育成を推進している。

また、消費者の「安全・安心」のニーズに即した有機栽培や低コストの水稻直播栽培の推進も地域全体の取組として拡大中。

3．取組の概要

取組の類型	J Aへ販売
セールポイント	安全・安心な米づくり 水稻作付すべてを無化学肥料減農薬栽培 (農薬は本田で除草剤を1回使用のみ)
取組の内容	作物を作るのではなく作物が勝手に育つ土作り 売れる米づくりではなく買ってもらえる米づくり 価格変動の少ない部分作業 作業委託者優先の作業工程 有機米の生産
取組の効果	売上が、9,000千円(13%)増加 コストが、8,000千円(12%)増加

先進的な米経営の概要（事例）

1．経営の概況

会社・個人名	もんや いわお 紋谷 巖
所在地	群馬県高崎市 南新波町21
経営面積 作付面積	計 35 ha 借入地 33 ha 作物内訳 (水稻 14 ha) (麦 (水稻の裏作を含む) 26 ha) (大豆 1 ha)

2．地域の概要

<p>高崎市は、榛名山を背景に望む、広大な関東平野の北端に位置する、群馬県を代表する都市。平成18年1月23日に、倉淵村、箕郷町、群馬町、新町と、10月1日には榛名町と合併し、新たな市の人口は34万人を超え、面積は401.01平方キロメートルに及ぶ。 これから、特例市から中核市へ移行を進めていく。</p>

3．取組の概要

取組の類型	消費者へ直接販売 直播，機械の共同利用等による生産コストの低減
セールスポイント	国の進める新たな米政策に積極的に取り組む、米麦二毛作地帯での優良事例
取組の内容	米・麦の生産費コストを下げるために、支払地代・減価償却費・労働費に費用を掛けないようにする。 借地に対する支払地代は、無償とし、地主から管理料を頂く。 大農具の償却資産は、耐用年数の2～3倍位長く使用する。
取組の効果	コスト2,000,000円（1割）減少

